

## 投稿 2

# 大山の歴史について

島口 健次

都心から約 90 分、丹沢大山国定公園に位置する大山は、伊勢原市を表玄関に標高 1、232 メートルのピラミッド型の美しい山容を誇っています。“関八洲の展望台”と言われる山頂からの眺めは格別で関東平野を一望し、振り返れば丹沢山塊の美しい山並み、富士の霊峰という雄大なパノラマが望めます。山腹の阿夫利神社下社からも相模湾や江ノ島、三浦半島、遠くは房総半島、伊豆大島まで一望できます。この大山は古くから霊山として庶民から信仰され、山頂には、大山阿夫利神社本社、中腹には阿夫利神社下社と関東三大不動の雨降山大山寺があります。この大山阿夫利神社は関東総鎮護として知られ、創建は第十代崇神天皇（紀元前 97 年）とし、祭神として、大山祇大神、高おかみ神、大雷神の三神を祀り、さらに海人たちの守り神として石楠船神も山頂の石尊をよりしろとして祀られています。山頂に本社、中腹に下社があります。一方、雨降山大山寺は関東三六不動霊場第一番札所として知られ、天平勝宝七年（七五五年）奈良東大寺の別当良弁僧正が開創し聖武天皇の勅願寺となった古刹で、通称「大山の不動さん」として親しまれています。関東三代不動の一つに数えられ、現在は真言宗大覚寺派に属し、京都大覚寺の別院ともなっています。江戸時代は大山講が結成され、大山詣は有名となり、春日局も何回か参詣しています。幕末には勝海舟も参詣し、社務局には勝神社があります。大山は紅葉のきれいな山として知られております。厚木歴史研究会では講演会で「大山の歴史」を行っております